

《Lesson 4》 否定文に疑問文に使われる「名詞 + that + 文」

「名詞+that」の形が否定文や疑問文で使われる場合、

文の種類（be動詞 / 一般動詞 / 助動詞の文など）のルールをそのまま使います。

<例>

【be 動詞の文】

〈否定文〉 He is not (isn't) the singer (that) she wants to see.

(彼は、彼女が見たい歌手ではありません)

〈疑問文〉 Is he the singer (that) she wants to see?

(彼が、彼女が見たい歌手ですか)

【一般動詞の文】

〈否定文〉 Some students (that) I know do not (don't) like to play sports.

(私が知っている何名かの生徒はスポーツをするのが好きではありません)

〈疑問文〉 Do any students (that) you know like to play sports?

(あなたが知っている何名かの生徒はスポーツをするのが好きなのですか)

【助動詞の文】

〈否定文〉 He should not (shouldn't) read the book (that) you were talking about.

(彼は、あなたが話していた本を読むべきではありません)

〈疑問文〉 Should he read the book (that) I was talking about?

(彼は、あなたが話していた本を読むべきですか)